【記事掲載】2017年度経営者「環境力」大賞 受賞

2018年3月14日号

2017年度経営者「環境力」大賞

ユニークな環境経営を発掘

認定NPO法人環境文明21（東京都大田区、加藤三郎共同代表）と日刊工業新聞社は2月23日、東京都渋谷区の青学会館アイビーホールで、2017年度経営者「環境力」大賞の顕彰式および発表会を行った。同賞は「環境」を経営の根幹に生かしている、中堅・中小企業のユニークな経営者を発掘し、広く社会へ発信することを目指す事業として、今回が10回目の開催。協賛はスーパーホテル、西武信用金庫、損保ジャパン日本興亜環境財団、高特、はくばく、武州工業、リマテックホールディングス。今回は厳正な選考の結果、計7人の経営者が選ばれた。

今回は7人の経営者が大賞を受賞した

講評 環境経営は世界のトレンド

環境文明21共同代表 加藤 三郎氏

環境文明21と日刊工業新聞社は、従来と比べて比較的若手経営者を顕彰することが出ており、また今年も高度な経営能力を有する「私の環境力」について実施に向けての本格的な動きがまだ出ていないが、やがて同協定による脱炭素社会への実現に、どの企業も経営を見直し、必要な対策を迫られることになる。いち早く環境経営に取り組んだ企業価値が有利になるという状況は、今後とも変わらないだろう。世界の先進企業はすでに、その方向に動き始めているのだから、7人が受賞者となった。受賞者は回を重ねることに地域的にも広がっており、また今年も高度な経営能力を有する「環境力」大賞の2017年度顕彰式と発表会が、2月23日に開催された。10回目の節目となった今回は、全国から十数人の応募者があり、その中から設置された審査会で厳正に審査した結果、7人が受賞者となった。受賞者は回を重ねることに地域的にも広がっており、また今年も高度な経営能力を有する「環境力」大賞の2017年度顕彰式と発表会が、2月23日に開催された。10回目の節目となった今回は、全国から十数人の応募者があり、その中から設置された審査会で厳正に審査した結果、従来と比べて比較的若手経営者を顕彰することができ、発表会でも「私の環境力」について力強くユニークな発表を行ってもらえるなど、経営の根幹に「環境」を位置付けて、参加者一同大いに感銘を受けた。

私たちはこの経営者たちの応募者があり、その中から設置された審査会で厳正に審査した結果、7人が受賞者となった。受賞者は回を重ねることに地域的にも広がっており、また今年も高度な経営能力を有する「環境力」大賞の2017年度顕彰式と発表会が、2月23日に開催された。10回目の節目となった今回は、全国から十数人の応募者があり、その中から設置された審査会で厳正に審査した結果、従来と比べて比較的若手経営者を顕彰することができ、発表会でも「私の環境力」について力強くユニークな発表を行ってもらえるなど、経営の根幹に「環境」を位置付けて、参加者一同大いに感銘を受けた。

私たちはこの経営者たちのような経営者は先見性を持ち、経営を絶えず革新し、環境経営を実践する結果にそれを実証する結果となった。

日本では「パリ協定」の発効を受けて、温暖化防止や持続可能な社会の実現や、脱化石燃料のフェーズで働く全ての人々の働く意欲を高める力⑥地域社会との交流を大切にし、その伝統や文化を引き継ぐ力になってほしい」とエールを送った。また、過去の受賞者で作る経営者「環境力」クラブ顧問（高特会長）の高橋房雄氏も「この受賞を機会に、『環境』をますます日々の経営に生かしていただきたい」と祝辞を述べた。

その後の発表会では、今回受賞した7人の経営者が順次登壇。自らの企業経営の中で「環境」を具体的にどのように生かし、実践しているのか、その基本的な考え方や、これからの経営方針などについて、エピソードも交えて発表した。

顕彰式で大賞を受ける受賞者

大賞受賞者

千葉オイレッシュ 代表取締役 野村 進一氏

リサイクルで社会貢献

このたびは2017年度経営者「環境力」大賞を受賞し、心よりお礼申し上げます。

弊社は1981年6月創立以来、環境に関わるリサイクル事業を行っていますが、私たちはかけがえのない地球からたくさんの恩恵を受け、幸せな暮らしを求めて日々活動しております。地球環境問題、特に温暖化対策がクローズアップされてきた今日、廃棄物のその社会的重要性を増してきております。

これからも安心で安全なエネルギーのあり方、そして地球環境への思いを「人を大切にする経営」を推進することで働きがいに繋げつつ、リサイクル技術開発を積極的に行い、環境に配慮しながら、特に、処理難易度の高い廃棄物への取り組みを一層強化します。そしてリサイクルを通じて、地域社会から必要とされる会社を目指し努力してまいります。

喜びの声

リガルジョイント 代表取締役 稲場 純氏

次世代へ自然と資源守る

このたびの受賞について日頃よりご支援、ご協力いただいている皆さま、そして従業員一同に深く感謝を申し上げます。

当社は流体制御機器や環境改善製品の開発・製造・販売・プランニングを行っております。環境理念に「地球環境の保全と環境改善製品の提供を推進し、次世代への自然と資源を守る」を掲げ、オゾンを利用した除菌・浄化・脱臭システム、排熱を有効利用する高効率熱交換機、工作機械のクーラントを改善する強アルカリ性電解水生成装置などの各種製品、サービスでの市場投入を進めて参りました。

また本社エコシステムビルは「かながわ地球環境保全対策大賞」を受賞しています。社名のジョイントを意味する、ネットワークを活用した協働体制で地域活性化を推進。海外企業とのジョイントし、環境改善製品の開発・商品化を目指して、今後とも経営展開をしてまいります。

（出典：日刊工業新聞 2018 年 3 月 14 日号）